

信頼回復のため
政治改革に
取り組みます。

経済再生を実現します。
すべての国民が
幸せを実感できる社会へ！

日本の、 新しい未来をつくる！



能登、輪島市朝市地区の公費解体状況



地域のふれあいを大切に



岸田前総理と経済財政
諮問会議メンバー



ロンドン、日本閣僚初のアジアハウス講演



アブダビ、スタートアップ誘致を提案

「地域の声を聴き、日本の元気をつくる」

政治の役割は、皆さまの声に耳を澄ませ、
地域に目を凝らし、明るい希望ある未来の
姿を描くことです。

前 経済再生担当大臣
自民党公認

「世界とつながり、貢献する」

国と国との関係は、人と人との信頼から。
行く先々でのふれあいを通じ、
経済・安全保障・地球問題など、
日本と世界をつなげます。

しんどう

義孝
よし たか

あなたの大切な一票を
しんどう義孝をお願いします。

信頼回復のため政治改革に取り組みます。

- 政治への信頼回復を実現するため、厳しい反省と強い倫理観のもとで不断の政治改革、党改革に取り組みます。
- 政治活動・選挙活動の実態に即した議論を加速し、政治資金のルールを見直し、ルールを守るための体制を確立します。
- 政治の信頼回復を図るため、政策活動費の透明性の確保や、その監査に関する「第三者機関」の設置、政党交付金の交付停止等の制度創設など不断の政治改革に取り組みます。
- 調査研究広報滞在費の使途の明確化、使途の公開、未使用分の国庫返納などに取り組むとともに、当選無効となった議員の歳費返納等を義務付ける法改正の実現を図ります。
- これまでの国政選挙、地方選挙で明らかになった課題を踏まえ、有権者目線で選挙制度を見直す議論・改革を進めます。

すべての国民が幸せを実感できる社会へ！

■経済再生を実現します！

日本経済は大きなチャンスを迎えています。

賃上げは33年ぶりの高水準、株価も34年ぶりに最高額を更新、実質賃金はプラスに転換、設備投資は過去最高の106兆円、名目GDPも史上初めて600兆円を超えました。しかし、GDP600兆円は一つの到達点であり、ゴールではありません。この30年間で、米国の一人当たり賃金は2.6倍、名目GDPが3.8倍、株価は15.0倍となるなど、諸外国は大幅に成長しています。

また、ドイツは、日本の3分の2の人口、約6割の就業者数、約8割の労働時間で日本と同程度のGDPを生み出す高い労働生産性を実現しています。

日本が目指すのは、少子高齢化・人口減少であっても持続的に成長する民需主導型の自律成長経済です。

■物価上昇を上回る構造的賃上げを推進！

新しい資本主義担当大臣として、物価上昇を上回る持続的・構造的賃上げに取り組んできました。

33年ぶりの高水準となった賃上げ、実質賃金も物価上昇率を上回りプラスに転じました。この流れを来年以降も定着させるための活動を強力に展開します。

■企業の稼ぐ力を高める省力化投資への支援！

賃上げのカギを握るのは、企業の収益力向上です。カタログ式でロボット・IoT等の省力化機器を簡単に申請できる中小企業省力化投資補助事業を推進します。

地方の中堅・中小企業の大規模成長投資補助金を通じて、工場等の拠点新設・大規模設備投資を補助します。

■経済連携協定により世界の成長を取り込む！

日本は、輸出入で世界経済と密接に連携しています。

CPTPP担当大臣として、貿易拡大に取り組みました。

「中小企業新規輸出1万者支援プログラム」により、商品開発から販路開拓までを一気通貫で支援します。



CPTPP閣僚会合 サンフランシスコ

経済新生への道行き

短期

デフレからの完全脱却
成長型の新たな経済ステージへの移行

中長期

少子高齢化・人口減少の克服
豊かさと幸せを実感できる持続可能な
経済社会

私は経済再生担当大臣として、新たな成長戦略をまとめ、「骨太の方針2024」では、2040年GDP1,000兆円の実現を新たな目標としました。

賃上げと投資がけん引する成長と分配の好循環により、日本の新しい経済ステージをつくります。

日本経済を世界の潮流に負けない、もう一段高い成長路線に乗せるための戦略はすでに組み立てられています。

■新しい働き方、人への投資を拡充します！

2012年からの11年間で、生産年齢人口が660万人減少する中、就業者数は467万人増加し、うち女性が393万人、高齢者は318万人増加しました。

望まない非正規雇用の正規化、年収の壁対策の強化、3号被保険者制度・在職老齢年金制度の改善を進めます。意欲ある女性や高齢者の労働参加を拡大します。



予算委員会にて答弁

■全世代・生涯活躍社会を実現します！

日本は2030年以降、15～64歳人口が劇的に減少しますが、25～74歳減少率は2040年代前半まで横ばいです。

一括採用、年功序列、終身雇用という慣行を見直し、ジョブ型人事の導入、全世代を対象としたリスクリングにより、すべての世代が能力や技術に見合う賃金と職場が得られる生涯活躍社会の実現に向け取り組みます。

消費拡大、実需を生む「潜在成長率の引き上げ」

人口減少が加速する中では、これまで以上に消費の拡大、新たな実需を生み出す潜在成長率の引き上げが重要です。

労働市場改革、設備投資の拡大に加え、技術革新による生産性の向上をもたらすDX、GXなど新技術の徹底した社会実装と、将来の日本経済をけん引する宇宙や海洋などフロンティアの開拓を強力に推進します。



少子化の動きを反転させる「こども未来戦略」

こども未来戦略加速化プランにより、2028年度までにこども一人当たり支出のGDP比率を11%から16%へ、OECDトップの水準に引き上げます。

子育て世帯への支援拡充と働き方改革との合わせ技で、若者が希望する仕事・収入が得られ、結婚・出産などの希望が叶う社会の実現を図り、少子化の動きを反転させます。



人口減少の流れを変える「気運醸成実行計画」

私は全世代型社会保障改革担当大臣として、人口問題や子育て支援のための気運醸成実行計画をまとめました。

経済、労働、教育、医療、福祉、健康づくり、まちづくりなどを横断的に連携させる、我が国初となる計画です。

少子化対策を当事者に限らず、独身者やこどもがいない方、高齢者も含め社会全体で共有し、誰もが生涯にわたり活躍でき幸せを実感できる社会を創るため、全力で取り組みます。

国の骨格を整える。

憲法改正の早期実現！



- 「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの基本原理は堅持し、憲法改正実現に向けて、取り組みを更に強化します。
- 技術革新、安全保障環境、時代や社会生活の変化など、時代の要請に応えられる「日本国憲法」に改正するために、力を尽くします。
- 自由民主党は現在、憲法改正の条文イメージとして、①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実の4項目を提示しています。
- 国民の皆様の幅広いご理解を得るため、全国各地で対話集会などを積極的に開催し、憲法改正の必要性を丁寧に説明していきます。
- 衆参両院の憲法審査会において憲法論議を深め、憲法改正原案の国会提案・発議を行い、国民投票を実施し、「日本国憲法」の改正を早期に実現します。

日本の領土と主権を守ります！

- 領土・主権は国家の基本問題です。
私は自民党・領土特別委員長として領土政策の立案にあたり、自ら提案した領土担当大臣・領土担当組織の新設、領土・主権に係る調査研究事業の実施を実現しています。
- フィールドワークとして、尖閣諸島視察及び洋上慰霊祭のため魚釣島に2度にわたり小さな漁船で接近しました。
- 竹島の韓国側施設建設を阻止すべく訪韓し、金浦空港でデモ隊と対峙。韓国より入国拒否措置を受けました。
- 北方領土・択捉島に宿泊調査を実施。島民集会を開催しています。
- 長崎県の男女群島、肥前鳥島には国会議員として歴代ただ一人となる上陸視察を行っています。
- 超党派領土議連会長として、与野党同志議員とともに活動しています。



領土・主権展示館の拡充

- 日本初となる領土問題の啓発・広報施設の設置を国会で提案。
- 東京・虎ノ門に領土主権展示館が開設され、全国を巡回する企画展も開催されています。来年春にはプロジェクションマッピングによる島の自然を体験できる展示が始まります。



まちの未来を拓くビッグプロジェクト《国策の先導的実践地・川口》

「川口の未来を拓く新しいまちづくり」の総合的推進

私たちのまち川口においても、未来を拓く新しいまちづくりが強力に展開されています。

川口駅まちづくりビジョン検討イメージ図



- ①鉄道輸送力増強／駅舎機能の拡張
- ②旧そごう跡地の活用
- ③回遊性の向上
- ④オープンスペースの創出と利活用
- ⑤再開発及び魅力的な都市景観の形成

●「上野・東京ライン」の川口駅停車が実現へ！

まちの悲願「川口駅への中距離電車停車」は、本年末頃にJR東日本と川口市で基本協定を取り交わす予定です。（週刊新藤第298号をご覧ください。）

朝の通勤混雑と不安定が解消されるとともに、上野東京ラインは、2031年度予定の新ルートにより、羽田空港と直結するなど、川口の交通便利性が飛躍的に向上します。

私がJR東日本と交渉を始めたのは2005年からであり、長年活動を共にしてくれた奥ノ木市長、同志県議・市議はもとより、ご協力いただいた市民の皆さまに厚く感謝申し上げます。駅のホーム増設、駅舎改築やデッキ拡幅に加え、美術館建設、周辺街区の再開発も大きく進みます。

旧そごうビルはリニューアル工事が始まり、2025年春には約100店舗の新商業施設が開業されます。



旧そごう改め
「(仮称)川口駅前商業施設計画」
外観リニューアルイメージ
(三井不動産資料より)

■上青木SKIPシティの「NHKスタジオ」

第1期工事が2026年度完成に向け着々と進められています。渋谷放送センターのドラマ部門が移転され、朝ドラや大河ドラマ、音楽番組の制作拠点になります。大勢の人が働き、番組制作関連企業が周辺に集積され経済活性化も期待できます。



■クルド人問題の解決⇒ルールを守って、共に生きるまち「川口」へ

市民の不安と不満が高まる、いわゆるクルド人問題については、本年6月の改正入管法の施行により、難民申請中の強制送還など対応が強化されました。（週刊新藤第300号をご覧ください。）

違反したものには厳正な対処を行うとともに、国籍を問わずルールを守り互いを尊重しながら理解・協力しあう「共生のまち・川口」を目指します。



何者かに破壊された公衆トイレを視察

日本の、新しい未来をつくる！

日本は今、持続可能な新しい未来をつくる大きなチャンスを迎えています。

性別や年齢にかかわらず意欲のある人が生涯活躍できる社会、若者が安心して結婚出産・子育てできる社会、世代を超えて健康を維持し、希望に応じ働くことによる生涯所得の増大など、従来の延長線上にはない、大胆で横断的な戦略を実行します。

私は、経済再生を実現させ、すべての国民が幸せを実現できる社会の構築に向け全力で取り組んでまいります。

新藤義孝プロフィール

■昭和33年1月
埼玉県川口市に生まれる。



■昭和55年3月
明治大学卒業



母方の祖父は
硫黄島最高司令官の
栗林忠道陸軍大将



■昭和55年4月
川口市役所に11年間奉職。



■平成24年12月
総務大臣、地方分権改革・地域活性化、国家戦略特区担当大臣に就任。
川口から56年ぶり2人目。



■令和5年9月
経済再生担当、新しい資本主義担当、スタートアップ担当、全世代型社会保障改革担当など6つの大臣として、様々な重要課題に取り組む。

